

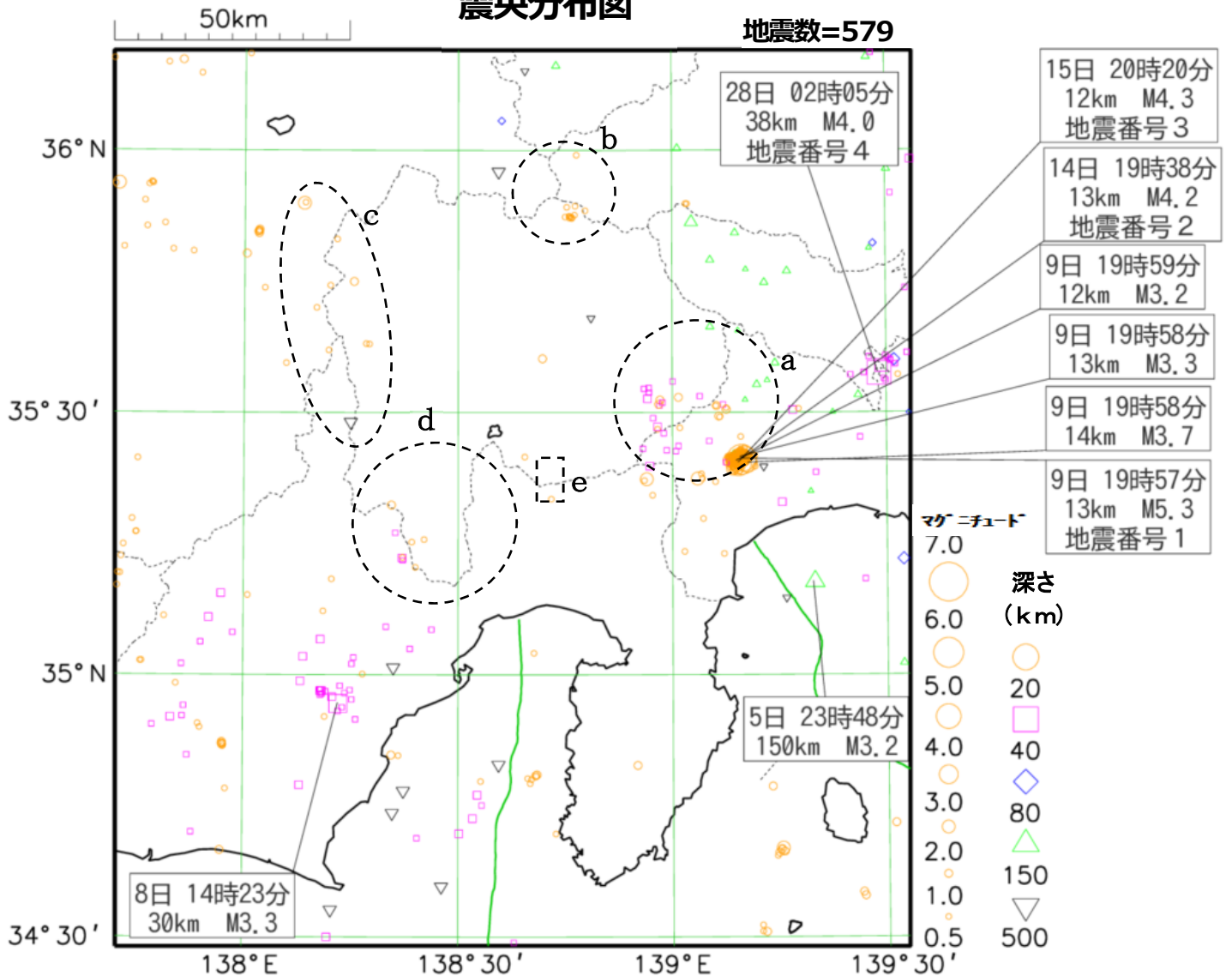
8月の山梨県とその周辺の地震活動 [令和6年(2024年)]

令和6年9月24日
甲府地方气象台

8月に震央分布図の範囲内で震源決定されたM3.0以上の地震は9回(7月1回)でした。
今期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は4回(7月4回)でした。

2024 8 01 00:00 – 2024 8 31 24:00

震央分布図



- ・震央分布図はマグニチュード0.5以上、深さ500kmまでの地震を表示しています。
- ・図中の破線部のアルファベットは、「山梨県とその周辺を震源とする地震」に対応しています。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

[山梨県とその周辺を震源とする地震]

- (a)山梨県東部・富士五湖から神奈川県西部付近
- 09日19時57分 神奈川県西部 地震番号:1
- 14日19時38分 神奈川県西部 地震番号:2
- 15日20時20分 神奈川県西部 地震番号:3
- (b)甲武信ヶ岳付近（山梨・埼玉・長野県境）
- (c)赤石山脈北部付近（山梨・長野・静岡県境）
- (d)峡南地方・静岡県境付近
- (e)静岡県東部（富士山南西部付近）
- (b)～(e)の領域では震度1以上を観測する地震がなく、特筆すべき地震活動もありませんでした。

[県内震度観測点で震度1以上を観測した地震]

8月に山梨県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は4回でした。

震源時（日時分）	震央地名	緯 度	経 度	深 さ	規 模（M）
各 地 の 震 度					
1 2024 年 08 月 09 日 19 時 57 分	神奈川県西部	35° 24.6' N	139° 09.6' E	13km	M5.3
山梨県	震度 4：富士川町鰍沢＊,都留市上谷＊,大月市大月,大月市御太刀＊,道志村釜之前＊ 忍野村忍草＊,山中湖村山中＊,富士河口湖町長浜＊				
	震度 3：甲府市飯田,甲府市相生＊,甲府市古閑町＊,甲府市下曾根町＊,山梨市牧丘町窪平＊ 身延町大磯小磯,南アルプス市寺部＊,笛吹市一宮町末木＊,笛吹市境川町藤垜＊ 笛吹市八代町南＊,笛吹市役所＊,笛吹市春日居町寺本＊,山梨北杜市長坂町＊,市川三郷町六郷支所＊,甲州市塩山下於曽,甲州市塩山上於曽＊ 甲州市大和町初鹿野＊,甲州市役所＊,甲州市勝沼町勝沼＊,中央市大鳥居＊ 中央市成島＊,中央市臼井阿原＊,富士川町天神中条＊,富士吉田市上吉田＊ 富士吉田市下吉田＊,上野原市秋山＊,上野原市役所＊,西桂町小沼＊,鳴沢村役場＊ 富士河口湖町船津,富士河口湖町勝山＊,富士河口湖町役場＊,丹波山村丹波＊				
	震度 2：山梨市小原西＊,山梨市三富川浦＊,韮崎市水神＊,早川町葉袋＊,身延町役場＊ 身延町常葉＊,山梨南部町富士＊,昭和町押越＊,南アルプス市鮎沢＊ 南アルプス市飯野＊,南アルプス市小笠原＊,南アルプス市榎原＊,甲斐市篠原＊ 甲斐市下今井＊,甲斐市島上条＊,笛吹市御坂町夏目原＊,笛吹市芦川町中芦川＊ 山梨北杜市健康ランド須玉＊,山梨北杜市明野町＊,山梨北杜市役所＊ 山梨北杜市大泉町＊,山梨北杜市小淵沢町＊,市川三郷町上野＊,市川三郷町役場＊ 上野原市四方津,富士河口湖町本栖＊,小菅村小菅小学校＊				
	震度 1：早川町保＊,身延町梅平＊,山梨南部町栄小学校＊,山梨南部町内船＊ 南アルプス市芦安芦倉＊,山梨北杜市武川町＊,山梨北杜市白州町＊				
2 2024 年 08 月 14 日 19 時 38 分	神奈川県西部	35° 24.6' N	139° 09.9' E	13km	M4.2
山梨県	震度 1：富士川町鰍沢＊,大月市大月,大月市御太刀＊,上野原市役所＊,富士河口湖町船津				
3 2024 年 08 月 15 日 20 時 20 分	神奈川県西部	35° 24.1' N	139° 09.3' E	12km	M4.3
山梨県	震度 2：富士川町鰍沢＊,大月市大月,大月市御太刀＊,上野原市役所＊,道志村釜之前＊ 富士河口湖町船津,富士河口湖町長浜＊				
	震度 1：甲府市飯田,甲府市相生＊,甲府市古閑町＊,甲府市下曾根町＊,笛吹市境川町藤垜＊ 笛吹市役所＊,山梨北杜市長坂町＊,甲州市塩山下於曽,甲州市塩山上於曽＊ 甲州市大和町初鹿野＊,甲州市役所＊,甲州市勝沼町勝沼＊,中央市大鳥居＊ 中央市臼井阿原＊,富士吉田市上吉田＊,富士吉田市下吉田＊,都留市上谷＊ 大月市役所＊,上野原市四方津,上野原市秋山＊,忍野村忍草＊,山中湖村山中＊				

小菅村小菅小学校＊, 丹波山村丹波＊

4 2024 年 08 月 28 日 02 時 05 分 神奈川県東部 35° 34.4' N 139° 29.0' E 38km M4.0

山梨県 震度 2 : 大月市御太刀＊, 富士河口湖町船津, 富士河口湖町長浜＊

震度 1 : 甲府市飯田, 甲府市相生＊, 甲府市古関町＊, 山梨市牧丘町窪平＊, 昭和町押越＊
 甲斐市下今井＊, 笛吹市境川町藤岱＊, 笛吹市八代町南＊, 山梨北杜市明野町＊
 山梨北杜市長坂町＊, 甲州市塩山上於曾＊, 甲州市大和町初鹿野＊, 甲州市役所＊
 甲州市勝沼町勝沼＊, 中央市大鳥居＊, 富士川町鰍沢＊, 富士吉田市下吉田＊
 都留市上谷＊, 大月市大月, 上野原市四方津, 上野原市秋山＊, 上野原市役所＊
 道志村釜之前＊, 西桂町小沼＊, 忍野村忍草＊, 山中湖村山中＊, 鳴沢村役場＊
 富士河口湖町勝山＊, 小菅村小菅小学校＊, 丹波山村丹波＊

震度：県内震度観測点（＊：地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の整備した観測点）

・地震情報で用いられる地域名称と市町村

山梨県	ちゅう せいぶ 中・西部	甲府市、甲州市、山梨市、韮崎市、笛吹市、市川三郷町、身延町、富士川町、早川町 南部町、甲斐市、中央市、昭和町、南アルプス市、北杜市
	とうぶ ふじご 東部・富士五湖	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村 鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村

※山梨県の震度観測点：<https://www.data.jma.go.jp/kofu/shosai/jishin.html#Kansoku>

＜地震番号 1＞

9日19時57分 神奈川県西部の地震（深さ13km、M5.3）により、神奈川県で震度5弱を観測したほか、関東地方、新潟県から近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。山梨県では富士川町、都留市、大月市、道志村、忍野村、山中湖村及び富士河口湖町で震度4を観測したほか、広い範囲で震度3～1を観測しました（図1）。

この地震の発震機構は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型でした。

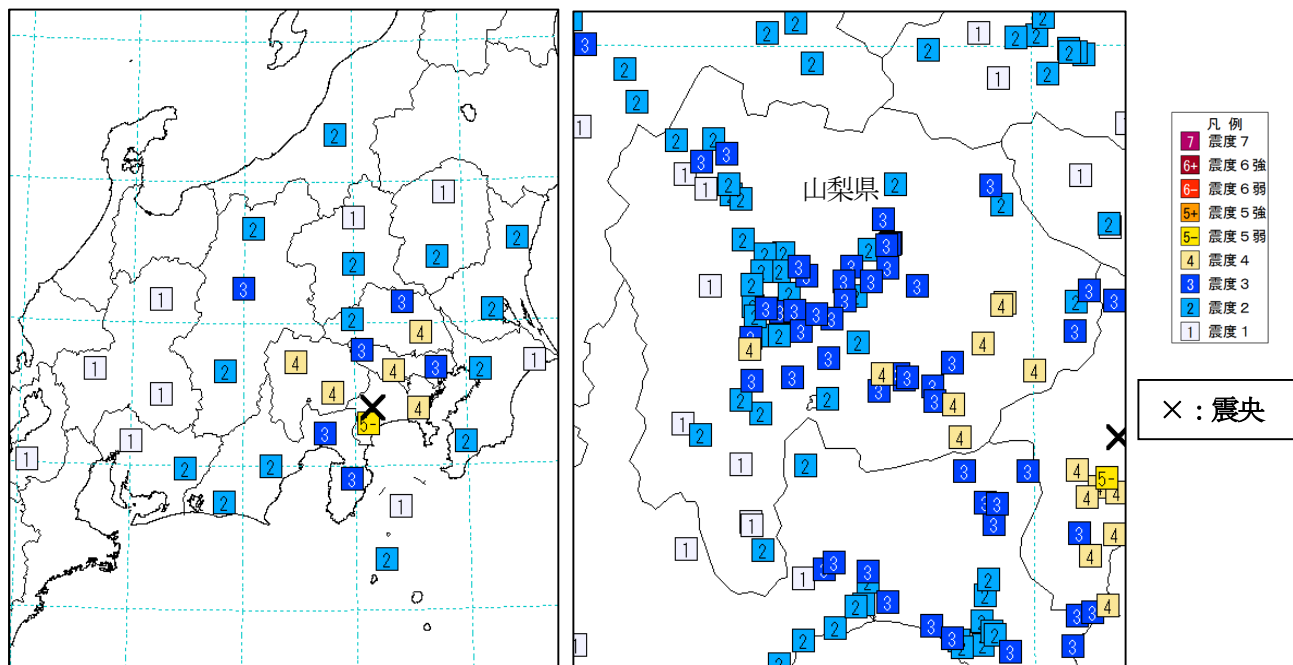


図1 震度分布図（9日19時57分 左図：地域別震度 右図：観測点別震度）

＜地震番号 2＞

14日19時38分 神奈川県西部の地震（深さ13km、M4.2）により、神奈川県で震度3を観測したほか、埼玉県、東京都、神奈川県、静岡県で震度2～1を観測しました。山梨県では富士川町、大月市、上野原市及び富士河口湖町で震度1を観測しました（図2）。

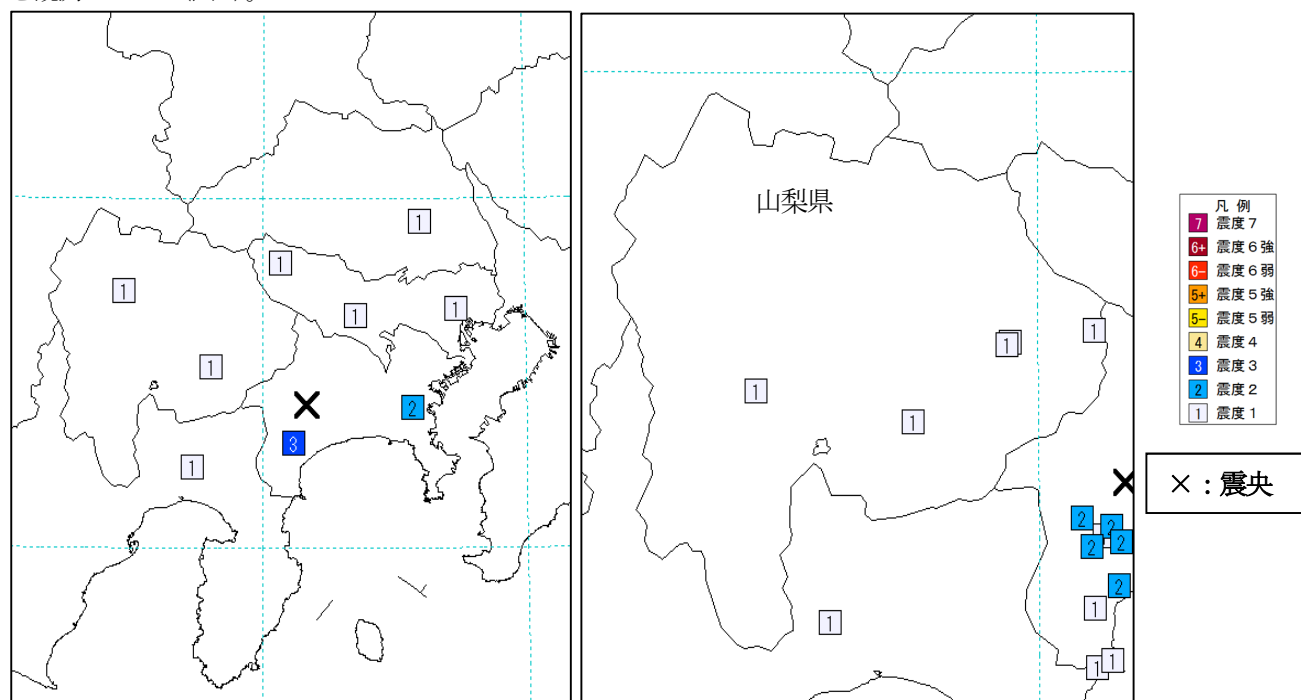


図2 震度分布図（14日19時38分 左図：地域別震度 右図：観測点別震度）

＜地震番号 3＞

15 日 20 時 20 分 神奈川県西部の地震（深さ 12km、M4.3）により、神奈川県で震度 4 を観測したほか、関東地方、静岡県及び長野県で震度 3～1 を観測しました。山梨県では富士川町、大月市、上野原市、道志村及び富士河口湖町で震度 2 を観測したほか、広い範囲で震度 1 を観測しました（図 3）。

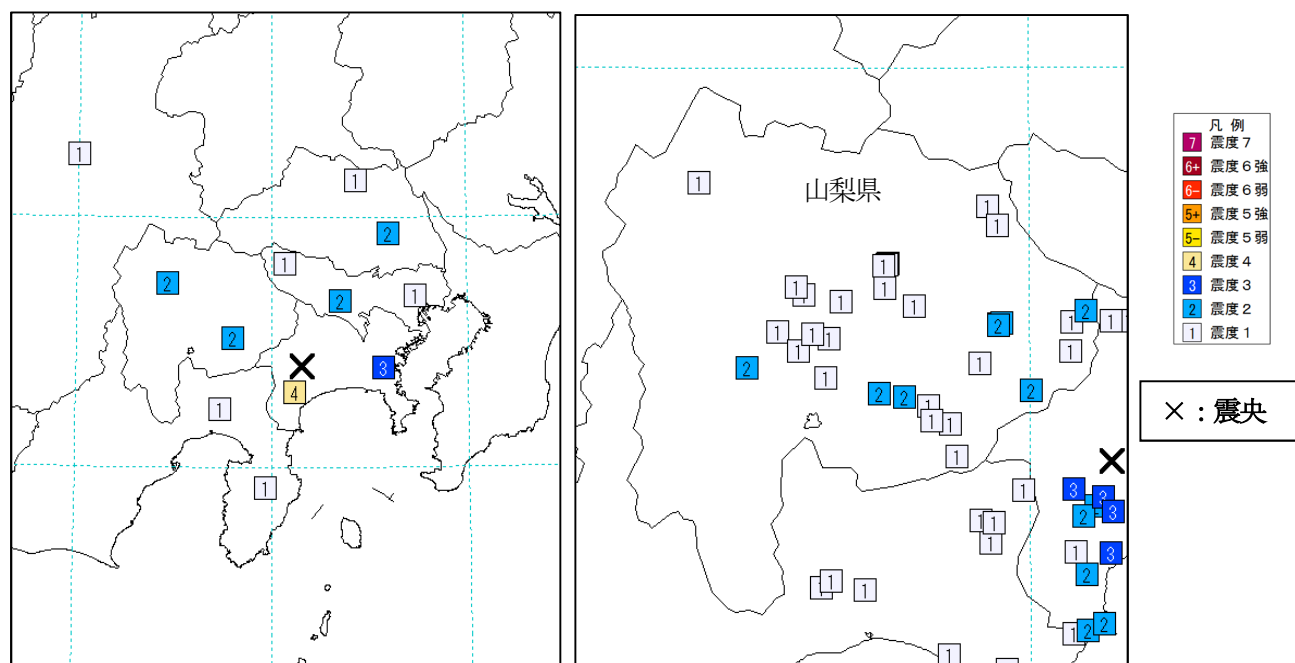


図 3 震度分布図 (15 日 20 時 20 分 左図：地域別震度 右図：観測点別震度)

＜地震番号 4＞

28 日 02 時 05 分 神奈川県東部の地震（深さ 38km、M4.0）により、東京都、神奈川県で震度 3 を観測したほか、関東地方、静岡県で震度 2～1 を観測しました。山梨県では大月市、富士河口湖町で震度 2 を観測したほか、広い範囲で震度 1 を観測しました（図 4）。

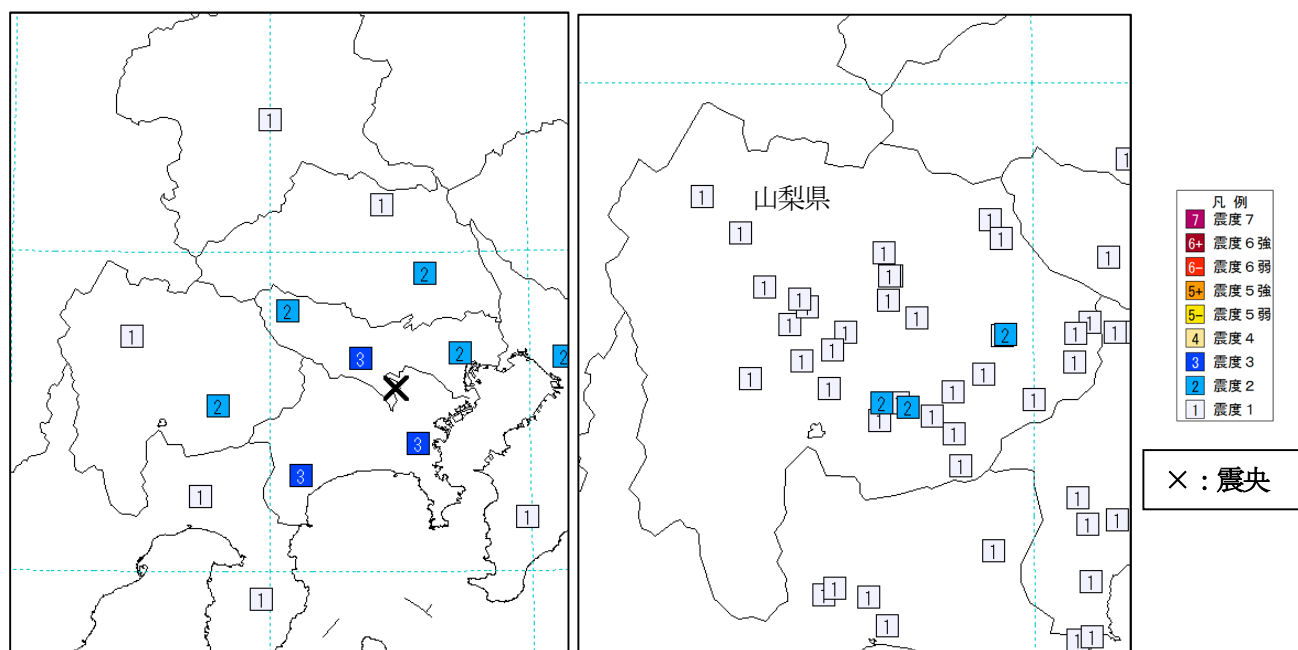


図 4 震度分布図 (28 日 02 時 05 分 左図：地域別震度 右図：観測点別震度)

逆断層・正断層・横ずれ断層

・逆断層

断層面を境にして、上側の岩盤が下側の岩盤に対してのし上がる現象。



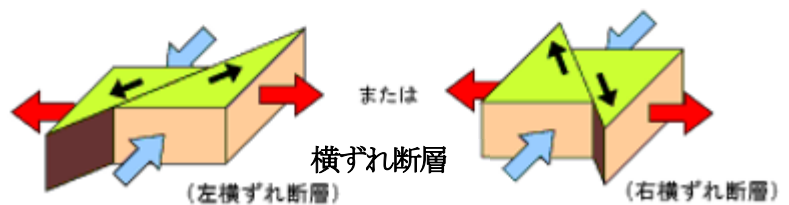
・正断層

断層面を境にして、上側の岩盤が下側の岩盤に対してずり下がる現象。



・横ずれ断層

断層面を境にして、水平方向にずれる現象。



→ ← 圧力 (押す力) ← → 張力 (引く力) ⇄ 断層がずれる方向

詳しくは下記URLを参考にご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/mech/kaisetu/mechkaisetu2.html>

【防災メモ】

8月8日、日向灘のM7.1の地震により、初の南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表

8月8日16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1（モーメントマグニチュード7.0）の地震が発生したことをうけ、気象庁では2019年5月31日の運用開始以来初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。これはどんな情報か、また、発表された際にどういった対応をすべきかをまとめました。

南海トラフ地震に備える地域は…

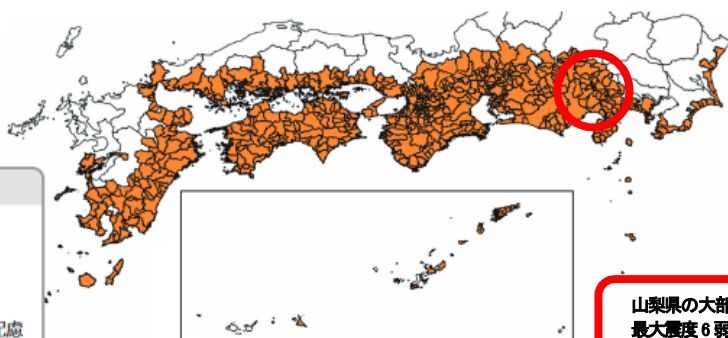
●関東から四国・九州にかけての広範囲に及びます

■南海トラフ地震で大きな揺れや津波が見込まれる地域

■南海トラフ地震
防災対策推進地域

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で
海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、
過去の被災履歴への配慮



山梨県の大部分で
最大震度6弱以上の
揺れが見込まれます

南海トラフ地震に関連する情報について

●「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」

「南海トラフ地震に関連する情報」は南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」があります。「南海トラフ地震臨時情報」は、情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」等の形で発表します。

南海トラフ地震 臨時情報		発表条件
		■ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
キーワード	調査中	■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	巨大地震警戒	■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	■ 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■ 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合 ■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
	調査終了	■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
南海トラフ地震 関連解説情報		発表条件
		■ 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ■ 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

「マンガで解説!南海トラフ地震その日が来たら・・・」(内閣府、気象庁、総務省消防庁)に一部加筆

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら…



- 政府や地方公共団体からの呼びかけに応じた防災対応をとしましょう
- 1週間の事前避難が必要となる地域もあります

気象庁が南海トラフの想定震源域等で異常な現象を観測※1

➡個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始

地震発生から
5分～30分後

気象庁が「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」を発表

地震発生から 最短2時間後	南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震警戒)	南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震注意)	南海トラフ地震 臨時情報 (調査終了)
(最短) 2時間程度	巨大地震警戒対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 ●地震発生後の避難では間に合わない可能性のある要配慮者は避難、それ以外の者は、避難の準備を整え、個々の状況等に応じて自主的に避難 ●地震発生後の避難で明らかに避難が完了できない地域の住民は避難	巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等(必要に応じて避難を自主的に実施)※2 つねに家族の所在場所を把握 非常用袋やヘルメットを玄関に 寝る時は枕元にはきなれた靴を置いておく	●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う
1週間			
2週間	巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等(必要に応じて避難を自主的に実施)	●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う	
大規模地震発生まで	●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う		

※1…南海トラフの想定震源域またはその周辺でM6.8以上の地震が発生または南海トラフの想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性がある場合。
 ※2…通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と概ね同程度の期間が経過した時。

「マンガで解説！南海トラフ地震その日が来たら・・・」(内閣府、気象庁、総務省消防庁)より

1週間の事前避難が終了してからの対応、または、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表後の対応

通常の生活を送りながら、次の地震に向けた備えを再度確認しましょう。

揺れを感じたら直ぐに避難できる態勢の準備と身の安全の確保

- すぐに避難できる態勢での就寝
- 屋内のできるだけ安全な場所での生活
- 非常持出袋の常時携帯
- 危険なところにできるだけ近づかない
- 緊急情報の取得体制の確保



日頃からの地震への備えの再確認

●避難場所・避難経路の確認



●家族との安否確認手段の確認

SNS・メール・電話・
災害伝言ダイヤル

「171」に電話をかけて、伝言を残すときはさらに「1」を、伝言を聞くときは「2」をおし、自分の家の電話番号など、家族で決めておいた番号をおすと使えます。



●家具の固定の確認



●非常持出品の確認など

- ・モバイルバッテリーは充電されているか？
- ・懐中電灯の電池は切れていないか？
- ・非常食の賞味期限は切れていないか？



最後に

南海トラフ地震臨時情報は、必ず大きな地震が発生するというものではなく、これまで以上に発生する可能性が高まっているという情報です。そのため、正しく情報を理解し、適切に備えることが重要です。

南海トラフ沿いでは、大規模地震発生切迫性が指摘されており、いつ地震が起きても不思議ではありません。また、地震発生後、時間差で巨大地震が起こるおそれもあります。

あなたと大切な人の命を守るとともに、社会が混乱しないように、来たる地震への備えについて、日頃から考えておくことが大切です。まずは高いところに物を置かないなど、できることから始めましょう。

「マンガで解説！南海トラフ地震その日が来たら・・・」（内閣府、気象庁、総務省消防庁）より

・データ等の利用及び再配布について

この資料は速報値です。後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

本資料の利用は、気象庁ホームページの利用規約（下記 URL）に準拠し自由にご利用いただけます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/coment.html>

山梨県とその周辺の地震活動

令和 6 年 8 月号

第 25 巻 第 8 号(通巻 293 号)

発行日 令和 6 年 9 月 24 日

編集・発行 甲府地方気象台

甲府市飯田四丁目 7-29

電話 055-222-9101